



2021年7月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第187号

| | | |
|----------------------|---|---|
| 佐藤節子クラブ会長 | 今だからこそ、一歩前進！ ～魔法のポジティブノートをつくろう～ | 会長 佐藤節子 副会長 石井芳隆 副会長 小松仲史 会計 森田智重子 書記 川口知幸 書記 徳澤洋子 監事 小林 秀 担当主事 阿部正伴 |
| 主 湘南・沖縄部部长 東日本区理事 | 咲かそう 人の輪～明るく・楽しく・元気よく～ 私たちは 次の世代のために 何ができるか？ | |
| 題 アジア太平洋地域会長 国際会長 | 100年を越えて変革しよう 世界とともにワイズメン | |

聖書のみ言葉

互いに重荷を担いなさい。そのようにしてこそ、キリストの律法を全うすることになるのです。たゆまず善を行いましょう。
ガラテアの信徒への手紙 6:2

会長あいさつ

佐藤 節子



2021～2022年度、会長を務めさせていただきます佐藤節子でございます。微力ながら一生懸命頑張る所存です。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

申し上げます。

皆様、数十年前に100歳まで生きる自分を想像したことありますか？ いま、元気な状態で人生が100歳まで続く、まさに「人生100歳時代」の到来です。元気で活動できる時間が増えれば、ライフワークも大幅に広がります。今だからこそ、ライフデザインを考えながら一歩前進したいものです。

会長方針

- 1, クラブの活性化、楽しい例会、参加したくなるクラブ活動を目指します。

| | | | | |
|-------|----|------|----------|-----|
| 例会データ | 6月 | ZOOM | 在籍会員 | 12人 |
| 会 員 | 8人 | | メイキャップ済み | 人 |
| ビジター | 1人 | | 出席率 | 67% |
| ゲ ス ト | 人 | | ロバ | |
| 合 計 | 9人 | | | 0円 |

- 2, 厚木YMCAと共に、ワイズメンズクラブの充実を図ります。
- 3, 地域で活躍している（子どもからシニアまで）すべての世代の方々との交流を深めます。
- 4, 「魔法のポジティブノート」づくりを呼びかけます。これは、嬉しいこと、嬉しかったこと、良かったこと、感謝したこと等を綴り、皆様が笑顔で「会話のある幸せな気持ち」になれる啓発運動の推進です。
- 5, 健康に生きてワイズ活動を楽しむために、情報のアンテナをキャッチし、行動に移します。

若い時にしかできないことが多くあります。一方で、歳を重ねたからこそできることも多くあります。クラブ一丸になって、留学生と日本人学生とユースの人たちと「気軽に交流できる場づくり」を作りたいと思っています。

そのためには、情報のアンテナをキャッチし、行動に移す。若さと元気を維持する努力は並大抵ではないと思いますが、願いは、楽しくバトンを次世代に繋げるために、学生さんやユースに「ここにいたい」と思われるワイズになりたいものです。

結びに、コロナ禍で思うように活動できないことが多々あると思いますが、どうぞ、みなさまのご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

湘南沖縄部からのお知らせ

行事予定

評議会 7月31日、11月27日、6月25日
部大会 10月23日
Yとワイズの新年会 2022年1月15日
研修会 5月28日(仮題 法人化を目指すこと)

報告

沖縄那覇クラブ・沖縄クラブは解散しました。

7月28日 本例会 ZOOM

| | | |
|-------------------|--------|----|
| | 司会 | 書記 |
| 開会点鐘 | | 会長 |
| ワイズソング、ワイズメンの信条 | | |
| ゲスト、ビジター、紹介 | | 会長 |
| 聖書朗読 | | 監事 |
| 協議事項 | | |
| ・新年度のクラブ企画について | | |
| ・ZOOMでバツ地理 オリパラ情報 | 澤内 | |
| ・ワイズ会員新年度に向けて | 抱負ひとこと | |
| ・ワイズ関連事項報告 | | |
| ・YMCA関連報告 | | |
| その他 | | |
| ハッピーバースディ | | |
| 閉会点鐘 | | 会長 |

YMCA報告

「おうちに食べない食べ物が余っていて、もったいない…」

YMCA オベリン保育園の園児から出たこの一言をきっかけに、厚木 YMCA と大和 YMCA、YMCA オベリン保育園からなる横浜 YMCA 厚木地域では、新たな取り組みとして「フードドライブ」という取り組みを始めました。

フードドライブとは、お家で余っている食品等を捨てるのではなく、必要としている人に届けるというシステムです。

YMCA 会員のみなさんや地域の方々から、ご家庭に余っている食料品を持ち寄っていただき、YMCA の専門学校に通う留学生のみなさんや支援を必要としている地域の人々や団体の方々にお渡ししていこうと考えています。

この取り組みの中でワイズメンズクラブのみなさんには、食料品をお持ちよりいただくだけでなく、集められた食料品の選別、食料品の梱包、お渡しする場所の選定等にも関わっていただきたいと思っています。

呼びかけを始めてまだ間もないこの取り組みですが、すでに様々なご家庭から食料品が続々と届けられています。

私たちは「地域に根差す YMCA」を具現化するために、ワイズメンズクラブのみなさんにご協力いただきながら、地域の人々を支えていく活動を進めていきます。ぜひ、ご協力ください！

会員から

「第一歩」

田口堅吉



2016年区大会の閉会后、希望者で戸隠を訪ねたとき、たまたま西日本区高槻クラブの森本ご夫妻と長い参道をご一緒して、私が横浜 YMCA 傘下の厚木クラブのメンバーだと申し上げたらこんなお話を頂きました。

「ワイズの関係で西日本区の YMCA を歴訪していて、熊本 Y の山根総主事をお訪ねしたときのことで、山根総主事が前の会議が延びていてお会いするのが少し延びることになったのですが、エントランスで待っていますと通りかかる学生さん、職員さん皆さん見ず知らずの私に『こんにちは』と挨拶され、ほかの YMCA を歴訪して経験したことがないことだったのでびっくりしました。その上『お待ちいただく時間が延びすぎて』と、お茶まで出され、これまた初めての経験でびっくり仰天しました。このビックリ仰天した感動を帰宅し、総主事にお手紙したところ、山根総主事の指導で行われているマナーの訓練の結果だと知り益々感動しました」と。

一昔前の2002年厚木クラブ創設の活動で、厚木 YMCA を訪問するようになり、エントランスで待って

いると、通る学生さん職員の方々が皆挨拶して行かれるので、新クラブ設立活動に協力して下さるいくつかのクラブのワイズメンの方々も、ここへ来るとアットホームなものを感じると森本さんと同じ感動を味わっておられました。やはり山根総主事のご指導だと伺いました。

森本さんのお話を伺ってから、Yへ参るときには、ささやかですがエントランスで出会う人には挨拶を忘れないようにしていますが、応答される方はごく稀です。クラブ創設準備中の2002～4年当時はエントランスに車いすが置いてあるなど障害者支援の活動が盛んにおこなわれるは、山根総主事の薫陶を受けた生徒さんも多くおられるは、この二つがうまくかみ合って館内に入出入りする人への挨拶とそれに伴うアットホームな感じを醸し出していたのではないかと私は勝手に想像しております。そして不幸にして障害者支援の活動は横浜YMCAの経営不振によりまもなく縮小され、薫陶を受けた生徒さんたちも3～4年すれば卒業され、当然のように挨拶とそれに伴うアットホームな雰囲気は消え去ってしまったのでは、今思うと本当に残念なことです。この春VISION2035に関連して佐竹総主事が問題としてつながりの希薄を挙げておられました、人と人とのつながりの希薄は挨拶の欠如によるところが大きいのではと思います。ワイズの皆さんといってもご婦人は無理かと思いますが男性だけでもYMCM会館内での挨拶を励行し、アットホームな雰囲気が厚木YMCA館内に充満するように導く第一歩にしたいものです。

第二例会報告

日時：6月10日

場所：ZOOMにて

出席：日下部、佐藤、森田、阿部、田口、徳澤、川口(記録)

- ・総会の手順の打ち合わせ。
- ・活動記録、会計報告、活動計画、会計予算について、内容の検討をした。

総会報告(第一例会報告)

日時：2021.6.23 18:30～20:00

場所：ZOOMにて

出席者：阿部正伴、石井芳隆、川口知幸、日下部美幸、小松仲史、田口堅吉、徳澤洋子、森田智重子

以下決定事項を箇条書きにします。

なお、詳しい説明資料を必要な方は書記までご連絡ください。

2020年7月-2021年6月期 第17回 総会報告

第1号議案 2020年7月-2021年6月 活動報告

挙手で承認される

第2号議案 2020年7月-2021年6月 決算報告

挙手で承認される

監査報告

第3号議案 次期役員を選出について

挙手で承認される

第4号議案 活動計画について

挙手で承認される

第5号議案 予算案について

挙手で承認される

第6号議案 例会名の変更について

従来第一例会を本例会に。第二例会を事務会に変更をしたい。(理由)名称の混乱を回避したいため、呼称を合理化します。

ご意見もなく、挙手で承認される

編集後記

田口堅吉さんの寄稿「第一歩」の連絡の際に厚木クラブ発足当時の貴重な体験をお伺いすることができました。その言葉を記載して編集後記とします。

『発起人のA氏が某大学の神奈川県総合OB会で集まった厚木のOBたちに倶楽部創設をアピールしたらみんな大賛成だった(酒の上での)。創設、間違いなしのお話で2002年秋、創設準備会を立ち上げ賛成だったOBを歴訪したところ一人も参加の意思を示す人なく、折角準備会を立ち上げたのだからやれるだけやってみよう活動を開始したのですが、難航。2003年中に9回会合しています。設立できたのは2004年9月でした。そんなわけ

で2002年から2004年まで多くのワイズが厚木Yに来て、どうしたら会員を獲得できるか、打ち合わせしたものです。その間Yの皆さんの挨拶を受け、すばらしいYMCAだと皆さん感心されたというわけです。おかげさまでだんだん昔のことを思い出しています。』(田口堅吉語録より)